

# 草地植生改善プロジェクト

(北海道：JA道東あさひ)

## 取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
			○		

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

### <取組主体について>

- ・所在地：北海道野付郡別海町
- ・代表者：代表理事組合長 原井 松純
- ・飼料作物作付面積：牧草48604.8ha、  
デントコーン1541.7ha
- ・HP等：<http://www.ja-doutouasahi.or.jp/>



アッパーロータリーによる表層攪拌  
(簡易更新)

### <取組について>

- 概要
  - ・JA道東あさひは、地域課題である草地植生の改善及び自給飼料の栄養価の向上を図るため平成28年度より5カ年計画で草地の植生改善を重点的に行う取り組みを実施。本プロジェクトは令和2年度にて終了。
  - ・草地更新率の向上・維持管理強化・雑草防除を含めた総合的な植生改善の実施。
  - ・モデル圃場・農家・地域協議会での取り組みから始め、その成果を全体に波及する手法を用いて、組合員の主体的な植生改善への取り組み意識の醸成を図りながら、地域の自給飼料を改善。
- 成果
  - ・年間更新率の向上（平成28年度4.4%から令和2年度4.8%）
  - ・自給飼料の栄養価（TDN）の向上（平成28年度58.28から令和2年度59.63）※サイレージプロジェクト分析結果より
- 今後の課題、展望
  - ・近年の台風・豪雨・長雨などの気象変動が草地植生改善に大きく影響を与えている中で、今後、不安定な気象に対応した対策が課題となっている。
  - ・令和3年度より新たな取り組みとしてJA草地植生改善促進助成事業を取り進めており、草地更新・草地維持管理等に係る助成を行い、草地更新率の向上、栄養価の高い粗飼料の生産を目的として、組合員の負担軽減への取り組みを進めている。

### <事業メニュー>

- ・草地更新に係る種子代の助成
- ・既存草地及び草地更新時の土壌改良資材の散布、雑草防除対策、追潘に対する助成
- ・麦類同伴、フロストシーディング、分割施工を実施した取り組みに対する助成